

変えよう!
兵庫県政

憲法が輝く兵庫県政をつくる会
第7号 2012年7月30日
メール: Info@kenpo-kensei.com
HP: http://www.hyogo-kenpo-kensei.com/

キーワードは「かがやけ憲法」

知事選挙一年前 つどいと大丸前宣伝



大丸前宣伝では、09年知事選挙候補者の田中耕太郎代表幹事や、全日本民医連の藤末衛会長らが訴え、「原発ゼロ」署名、「子ども病院移転反対」署名も取り組まれました。

「兵庫・憲法県政の会」は7月7日、「2013年知事選挙一年前のつどい」を開き、街頭宣伝も行いました。政治情勢の特徴と運動の方向、「会」の取り組みの到達点や強化点などが報告され、各分野・地域から県民要求や運動が発言されました。「憲法をもとに、くらしを守る県政」に変えようと話し合いました。

石川康宏代表幹事が、報告をかねたあいさつで、国民は二大政党を乗りこえており、官邸前行動にみられるように自分の力で政治を動かそうとする流れが起きていると強調しました。また井戸敏三知事について「原発再稼働を容認した関西広域連合の声明をつくった

中心人物」と指摘し、「子ども病院の移転や高校学区拡大などで県民との矛盾をいつそう広げている。県知事選まであと1年、走り切ろう」と訴えました。

松山秀樹代表幹事は、橋下・維新の動きに触れ、憲法が輝く地方自治と住民のたたかいを強調しました。

その後、元町大丸前で、宣伝・対話活動を繰り広げました。

【主な発言】
雇用にも税収にも何のプラスにもならない大企業補助金パナソニックの撤退で1千人ほどが解雇されたとされている。県は莫大な補助金は出したが、雇用にも税収にも何のプラスにもならない。県立塚口病院跡地に医療機関の建設を求める運動が継続されている。(尼崎の会)

子どもの医療費無料化を、県知事も交渉した。各地の自治体に新しい変化をつくりだしている。(新日本婦人の会兵庫県本部)

農山漁村守る県政に
TPP問題での危機感保守層にも広まっている。農家戸数は4割、農地も4割になると言われている。合併で地方交付税が削られ、地域社会が存亡の淵に立たされている。集落は高齢化し共同作業ができなくなっている。農山漁村を守る県政をつくっていききたい。(兵庫県農民運動連合会)

子ども病院移転に医師会もあげて反対、議会内外の運動を
県立子ども病院の移転問題。院長らも現地での立て替えを要望していたのに、一昨年2月に突然ポータアイランド移転の計画が発表された。大震災で液状化したポータアイは病院の移転先にふさわしくない。医療産業都市の空き地を埋めようとするのもです。医師会もあげて反対しており、議会内外での運動が重要です。(日本共産党兵庫県会議員団)



のり(憲)のり(法)コラム

先日、子どもが学校から「夏の節電チャレンジシート・小学生」を持ち帰ってきました。発行は「関西電と関西広域連合」。中身を見て、「小学生に何を刷り込むのか」と怒り心頭です。

「関西電力は、この夏みなさまに、節電のご協力をお願いしています」、だから「今年の夏は、ご家族といっしょに、節電のチャレンジをお願いします。」って書いてあります。

関西電力・関西広域連合さん、「節電」は何のためにしているのか、子どもの方が良く理解していますよ。原発再稼働の口実のためにやるもんじゃありませんよ。環境破壊を食い止めようって省エネするんですよ。「節電」を小学生に取り組ませるなら、京都議定書やエネルギー枯渇の問題とか、取り上げるべき視点があるでしょ?」

しかも、「チャレンジシート、絵日記を送ってくれた方に、『感謝状』と『シールセット』をお届けします」とまで。地球環境のために、家計のためにも、節電するのは小学生にとっても当たり前のこと。モノでつられてやるものでも、褒美のためにするものでもありません。福島の人たちをほったらかしにして、子どもに「原発が動かないと電気消えちゃう?」みたいなウソを、すりこむのはやめてください。(E)

切実な要求、願いの実現へ 地域から「県政変えよう」の大きな声を

「兵庫・憲法県政の会」は、5月に開催した第8回定期総会の内容を県下全域に広め、地域の県政要求を学び合うために、順次、地域報告会を開催しています。これまでに開催したところは次のとおりです。

- 7月 3日 東灘・灘・中央区
 - 7月 4日 西播磨(姫路除く)
 - 7月12日 西宮市
 - 7月13日 宝塚市(地域主催)
- 【各地域の発言から】
- 7月3日 東灘・灘・中央区
「政令市でも社会保障の県政要求

が切実。3年前の選挙時に医療費の負担が大きくなり、県民の怒りの声が寄せられた。『借り上げ復興住宅問題でも県は神戸市といっしょになっている。そういう意味では、県へも、市へも』の要求運動が大切」



11月に100人規模で総会を開く -7月13日「宝塚の会」幹事会-

「宝塚の会」は7月13日、幹事会を開き10人が出席しました。2009年選挙の取り組みを振り返るとともに、大震災への支援、原発再稼働、消費税・TPP問題、維新の会の動きなどについて意見交換。ついで、各団体の取り組みが報告・交流された後、今後の具体的な活動について話し合い、11月11日に総会を100人規模で開く、役員体制と加盟団体について再確認をすすめること、総会まで毎月幹事会を開く、宣伝行動については次回幹事会で具体化する、などを決めました。

「兵庫・憲法県政の会」からは、田中耕太郎代表幹事など2人が出席し、「会」の取り組みの報告と運動への協力を呼びかけました。



7月4日 西播磨

「農林業の再生で雇用の創出ができるようにしなければ」、「赤穂は04年の水害で救助法が適用されなかった。まだ河川の十分な改修が行われていない」など、途切れることなく熱心な発言が続きました。

7月12日 西宮市

「名神と阪神をつなぐ湾岸連絡線2kmに840億円の道路整備を県知事はくりかえし国に働きかけてきた。地元では公害道路、町が道路で分断されると反対の声があるのに」、「西宮では中2まで医療無料だったが、県が所得制限をかけてきたため、4000人くらいが有料になってしまった。県政が市政の足をひっぱっている」

【今後の予定】

- 8月25日(土) 午後2時
新長田ビブレ会議室A
- 8月28日(火) 午後7時
加古川民商會館
- 9月 8日(土) 午後2時
尼崎労働福祉会館(地域主催)

公式HPを立ち上げました ブログ・メーリングリストへの登録、ツイッターフォローへの協力を

「兵庫・憲法県政の会」は7月6日に、公式ホームページを立ち上げました。これまでのブログやツイッター、2009年選挙資料などにもリンクできるものです。

また、会の集会や宣伝などの動画配信などにも積極的に挑戦し、兵庫県全域、そして幅広い層への呼びかけを強化していきます。

加入団体の会員のみなさんや、地域の会のみなさんには、ブログ・メーリングリストへの登録、ツイッター・フォローへのいっそうのご協力をお願いします。

【現在 公式HPで配信している動画】

ユーストリームをクリックして下さい

- 7月12日 西宮の地域報告会 石川代表幹事の報告
- 7月15日 笠井衆議院議員の講演(原発なくす会)
「原発ゼロ、自然エネルギーへの転換」



「京都の選挙に学ぶ会」

景気・雇用に大胆提言、「前例にとらわれない創造的取り組み」

「兵庫・憲法県政の会」は6月14日、他府県の首長選挙のすぐれた経験からも率直に学ぼうと、「京都の選挙に学ぶ会」を開きました。

「京都市政を刷新する会」の池田豊事務局長が、「前例にとらわれない創造的取り組み」など共同の拡大への新たな探究、ITも含めた宣伝戦略、市民要求にあった宣伝・政策の重要性などについて報告されました。参加者は新たな意欲を燃やしはじめました。

今後、お互いの問題意識を深めるため、8月下旬に京都を訪問し問題意識を探究・交流します。



池田氏(左)の講演後、石川代表幹事と対談